製品企画・開発、ブランディング、デザインマーケティング、製品開発と絡めた地域興し、素材開発

関連するSDGsの国際目標

人間文化学部　生活デザイン学科　　教授　　塚本　カナエ

研究分野：製品企画、ブランディング、製品開発、
製品開発などに纏わる町興し、企業再生、販促デザイン

概要：より良い生活や社会の姿を描き、それらを実現する仕組みや枠組みをデザインする技術と知識、「企画・構想デザイン」について研究を行っています。特に日常生活を考察し、現代は「循環」という言葉がキーワードになっており、それに付随したデザインを行っています。

■現在から近い将来までの日本の食文化における食と提供の方法

・約20年前くらいからコンビニが浸透してきた時期と重なり、日本人の食生活は大きく変化しています。夫婦共働き家庭が増え、その上子供もいるとなると更に多忙となっています。また子供たちはコンビニのお菓子や食べ物を買い、面倒なので食器に移さずそのまま食べる事に慣れています。今やそれが「当たり前」になってきています。また高齢者の一人暮らしも増えていますが、この層は生活全般に渡り「億劫」という心理があります。こうした状況から現代においてはスローフードを実践している人たち以外は、食生活は便利であり、面倒をできるだけ省いたものが好まれると仮定できるのではないかと考えました。コンビニやスーパーなどの総菜、弁当に焦点を当て、器の素材や仕組みから約30年先程度までの食文化を形作っていくことを研究しています。



生分解性樹脂（PLA）による実験用成型品

■製品企画とブランディング、その販売戦略構想

・企業の保有する独自の技術を生かした製品企画と、そのブランディング、またその後の販売戦略のデザインを行っています（イベント企画、販路等の相談）。ロングセラー商品を目指しています。日用品を中心に、家電製品、台所用品、清掃用品、食器、文具、装飾品、工芸品などに関する開発が可能です。また製品販売戦略に付随する町興し等のデザインも行っています。



※真空保温調理ができる鍋

※鍋の側壁に真空状態の部分があり、これにより消火後、余熱で調理が完成する調理のこと。



海外見本市での使用方法のデモ



海外見本市への出展